

【研究計画名】

八幡厚生病院におけるIFS(individual fitness score)を活用した統合失調症薬物治療の評価

【研究の目的・概要】

統合失調症薬物治療ガイドラインは、医師、患者さん、家族等の支援者を支援する目的で作成されており、医師と患者さんの共同意思決定の際に判断材料の一つとして活用されます。ガイドラインに即した適切な薬物治療が推奨されていますが、実際の臨床現場において、どれくらいガイドラインが反映され役立てられているかは十分わかっていません。

そこで今回、八幡厚生病院では、IFS(individual fitness score)という指標を用いて、一人ひとりの患者さんの治療内容がどの程度ガイドラインに適合しているかを調査します。IFSは0～100%の間で評価され、数値が高いほどガイドラインに沿った治療であることを表します。本調査にあたり、電子カルテより、入院時持参薬識別情報、退院時処方内容、クロザピン処方の有無、m-ECT実施状況を確認し活用します。ガイドラインへの適合度を調査することにより、治療内容を客観的に評価し、より質の高い治療を目指すことを目的としています。

【研究の方法と期間】

2025年4月1日～2025年9月30日に八幡厚生病院精神科救急急性期病棟に入院された統合失調症患者さんの入院直前及び退院時のIFS(individual fitness score)を調査します。個人情報には匿名化し、対応表を作成します。対応表およびIFSデータを解析するために使用するUSBは、八幡厚生病院薬剤科内に施錠して保管管理いたします。

【研究に関する問い合わせ先】

医療法人社団翠会 八幡厚生病院 院長 三浦智史
電話番号 093-691-3344（代表）

【研究参加を拒否する方法と連絡先】

本研究の調査から除外してほしい場合は、上記問い合わせ先にご連絡をください。
研究に協力されない場合も、患者さんに不利益はありません。